



2020年5月27日

各位

会社名 株式会社セコニック
代表者名 代表取締役社長 白土 清
(コード番号 7758 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 佐藤 重朗
(TEL 03-5433-3611)

特別損失の計上および2020年3月期通期連結業績予想と実績値 との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期において、特別損失（減損損失）を計上するとともに2020年2月25日に公表の2020年3月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社および連結子会社が保有する主に設備を対象とした固定資産について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえた将来の回収可能性を「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき慎重に検討した結果、収益性の低下が見られたため、2020年3月期において67百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値との差異

(1) 2020年3月期の連結業績予想値と実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,400	△80	△95	60	35.05
今回実績(B)	6,377	△97	△137	△80	△47.01
増減額(B-A)	△22	△17	△42	△140	
増減率(%)	△0.3%	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2019年3月期)	6,690	41	20	148	86.89

(2) 差異が生じた理由

売上高及び営業利益につきましては、前回発表時に想定した新型コロナウイルスの感染拡大の影響が、生産拠点における部材調達の遅延や完成品輸送ラインの一時的停滞の形で拡大したことから、それぞれ前回発表予想を下回る結果となりました。経常利益につきましても、3月に入って以降の株式相場の急落に伴い当社が保有する一部投資有価証券の期末日時価が著しく下落し投資有価証券評価損（営業外費用）25百万円を計上したことから、前回発表予想をさらに下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想発表時においては、投資有価証券売却益の計上で黒字の確保を見込んでおりましたが、前述の減損損失の計上および繰延税金資産の取り崩しにより、結果として前回発表予想を大幅に下回ることとなりました。

以上